2010/1/4

協働かわら版

Kyodo Vol.5

賀正

祝・協働 New Year

今年もよろしくお願いします♪

市民参加推進課市民参画係

～ 目　次 ～

1．お待たせしました！吉川市協働事業紹介～環境ネットワークよしかわと環境課の取り組み
2．協働用語ワンポイント解説（第３回）～プラーヌンスクツェレとは？
3．映画開催のお知らせ
4．まいぷれ吉川絶好調！

お待たせしました！吉川市協働事業紹介

読者の皆さまからも頂いておりました、「吉川市と市民との協働事例を教えて欲しい！」とのリクエスト、ようやく実現しました。待たせてしまってごめんなさい。

記念すべき第１回目は、**「環境課環境保全係」**さんと**「環境ネットワークよしかわ」**さんとで行われている協働事業をご紹介いたします！

団体紹介

今回ご紹介する協働事業の団体を紹介します。**『環境ネットワークよしかわ』**さんは、市民と環境団体により平成１５年度に設立されました。当時は、吉川市によって設立された組織で、「吉川市環境まちづくり委員会」という名前で、各種環境事業を行ってきました。

しかし、「我々は、更に市民の立場から地球・地域の環境保全のために考え、自由で幅広い活動をすることを目的に動いていきたい！」という熱い思いが湧き上がり、**平成１９年４月に市から独立した「環境ネットワークよしかわ」として任意団体化**し、新たな道を歩み始めました。現在、個人９名と１５団体の会員体制で、環境課さんと連携を取りながら活動を続けています。

今年度の主な協働事業

続いて、主な協働事業の紹介です。「委託事業」と「独自事業」の２種類に分かれています。

＜主な委託事業＞

環境学習出前講座

環境学習教育の支援を目的に、学校、各種サークルなどへ出前講座を実施する。現在のメニュー表では、地球環境関係９講座、ごみ減量・リサイクル関係８講座、自然保護・水質浄化関係１３講座の計３０講座の対応が可能。

今年度は４校で２６講座を実施した。

子ども達に大人気の出前講座

マイバッグ推進事業

ごみの減量・地球温暖化対策の一環として、市内店舗においてレジ袋を断りマイバッグを持つよう啓発する。また、アンケートや持参率調査を実施して現状分析を行う。

市内大型店舗（計４店舗）にて実施。

マイバッグ調査をする皆さん

＜主な独自事業＞

環境ネットワークよしかわさんが中心となって行っている事業です。

環境展 2009（市共催）

一般市民向けに環境啓蒙及び環境団体活動報告の場として実施している。

団体が日頃の活動を PR する場として有効活用♪

吉川市民まつり（市・JT 協力）

市民まつりでもお馴染みの光景となっている「ひろえば街が好きになる運動（通称：ひろ街運動）」は、実は環境ネットワークさんが中心となり、環境課・JT の協力を得て実施しています。

会場がいつも綺麗なのは、こういった活動があるからこそです！！

環境フェスティバル（市・教育委員会共催）

小学生の環境学習成果発表会の実施及び一般市民向けの環境啓発活動。

子どもたちが主役の一日！市と教育委員会が共催しています（写真は昨年度のもの）

協働してみて、どうでしたか？

ただ単に協働事業をやればいいというものではありません。何よりも当事者同士がどのように感じたのかを**お互いの立場・目線で振り返り、共有し、次に繋げていくことが大切**です（ここら辺は、行政や民間の世界でよく言われている PDCA サイクルと一緒ですね）。今回、前述の各種協働事業をやった上での感想などを聞いてきました！！

環境ネットワークよしかわの声

皆さん初めまして！環境ネットワークよしかわです。ヨロシク♪

- お互いの専門性・先駆性・柔軟性・迅速性などを活かすことができました！
- 地域性を活かし、様々な人・団体と連携することができました。
- 行政ブランド力はすごい！単独でやるよりも大きな効果を得ることができました。
- 事業の仕様書づくりからの参画をすることが出来たら、もっと良かったかも・・・。
- 「一緒にやる！」という意識をお互いに持つことが大切。これからも一緒に地域発展に貢献しましょう！
- 行政と対等な位置関係にいるためには、人材育成としっかりとした組織体制整備が必要であることを痛感・・・。

環境課の声

皆さんこんにちは。環境課です。素直な気持ちをお伝えします。

- 行政だけでは対応できない事業も協働することで、より専門的で多方面に渡る分野までの対応が可能となった。
- 市民の環境への関心が高まっている昨今、幅広いニーズに答えられる事業が設定されていることは評価できる。
- プレゼンテーション能力の向上がもっと必要ではないか。説明方法、言葉の選択などはまだ改善の余地あり。
- 役割分担をもっとはっきりさせ、事業計画の段階から話し合う必要がある。どちらかがどちらかに依存する関係はダメ！
- 任意団体化したことで、環境ネットワークの事務量が相当増加した。特定の人に負担がかかり過ぎているため、人材育成の必要性を感じる。
- 我々、環境課の場合は、新規に協働するわけではなく、これまでの経緯を活かして行っているため、自然と協働という形を取ることが出来た。

皆さん、いかがでしたか？今回のように、日々、市内のどこかで協働事業が実践されています。まだまだ、お互いに課題も反省もあるけれど、新しい吉川のまちづくりを今日も頑張っている“誰か”がいます。そう、あなたの近くにも確かにいるのです・・・。

吉川市との協働はまだ始まったばかり！これからもお互いが成長し合い、刺激し合って、素晴らしいまちづくりをしていけるように頑張ります！

環境課と環境ネットワークよしかわの皆さん、ご協力ありがとうございました！！

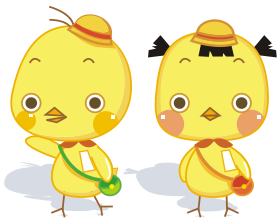
協働用語ワンポイント解説（第３回）

今回の協働用語：プラーヌンクスツェレ

“プラーヌンクスツェレ？” イタタ・・・、舌を噛んじゃったよ！となりそうなこの言葉。皆さん、聞いたことがありますでしょうか？これも実は立派な協働用語！というより、まちづくり用語です。その意味は・・・？！

“プラーヌンクスツェレ” とは、ドイツのペーター・C・デイーネル教授が１９７０年代に考案し、ドイツで始まった**新しい市民参加の手法です。**これを英語にすると、「プランニングセル＝計画細胞」となります。なんだか、わかったようなわからないような・・・という言葉ですよね。

このプラーヌンクスツェレは、**「くじ引きで無作為抽出された委員により公平性を確保し、有償制にして参加責任を持たせる。十分な情報提供を受けて討議を繰り返し、政策形成にいたる」**ものとして評価され、民主主義の刷新を図る具体的方法として、近年、日本でも広まってきています。その特徴としては、次のようなものがあります。



プラーヌンクスツェレの特徴って何だろう？
次のページで確認してみてね♪

≪プラーヌンクスツェレの特徴≫

- **参加者を無作為で抽出する（住民台帳等を利用）。**
- **参加者に謝礼を払う（有償性。４日間が標準と言われる）。**
- **中立的独立機関（例：青年会議所）が実施期間となり、プログラムを決定。**
- **専門家（もしくは利害関係者）から情報提供（現状・課題など）を受ける。**
- **毎回メンバーチェンジしながら、約５人の小グループ制で討議を行う。**
- **「市民答申」という形で報告書を作成し、参加した市民から正式な形で委託者に渡す。**

ドイツなどとは違い、代議制民主主義に頼り切ってしまっている現在の日本においては、このような「討議を行う」ことには慣れていないと言われていますが、最近の傾向を見てみると、**自治体ではなく青年会議所が主催者となって、実施しているところが多い**ようです。

話し合うテーマも多岐に渡ります。市民参加推進課調べで入手したテーマは次のとおりです。

≪話し合われるテーマ例≫

- **環境問題について**
- **安全安心きれいなまちについて**
- **〇〇市（町）ってどんなところ？**
- **子どもの未来について**
- **地域コミュニティ構築について**
- **公益団体への課税について**
- **〇〇市の〇年後の姿について**　　**などなど。**

青年会議所さんが主催している場合が多いから、色々な切り口があるみたいだよ。
皆さんが所属している課のテーマと合致するものはあったかな？

進め方などは、当市市民参画条例にも定めている「ワークショップ」に近いものと思ってください。市の計画から身近なテーマまで幅広く取り扱うことが出来ることも特徴になっています。

最後に、既に実施している自治体の中で、事例をご紹介いたします。いずれの自治体も市民参加・参画・協働分野で先進的な取り組みを随時行っているところです。特に三鷹市さんの資料は非常にわかりやすいので、ぜひご覧ください！！

① 三鷹市市民協働センター：「みたかまちづくりディスカッション 2006」と「基本計画改定に伴うまちづくりディスカッション 2007」を報告。
HP：http://www.collabo-mitaka.jp/discussion.html

② 多摩市：第五次多摩市総合計画基本構想市民ワークショップを報告。
HP：http://www.city.tama.lg.jp/plan/942/5964/007519.html

映画『降りてゆく生き方』上映のお知らせ

映画と言っても、ハリーポッターシリーズ最新作でもジブリ最新作でもありません。「地域」をテーマとした映画の紹介をいたします。

え？「映画宣伝って・・・。協働かわら版と何も関係ないでじゃないか！」ですって？？

もちろん、このかわら版を通じての宣伝ですから、協働にも十分関係する類の映画ですよ。この映画は**「地域」**をテーマとしている作品です。

（以下、映画製作者からのコメントより）

「世界経済激変の年」となった 2008 年。日本の経済も悪化し、生活の不安は増すばかり・・・。明るい未来はないように思えます。そしていま、我々日本人は、戦後の経済や効率至上主義の中で、**大事なものを多く切り捨ててきてしまったことに気付きつつあります。**

「昇って行く時代」から「降りてゆく時代」へと変化したいま、我々は、これまで切り捨てられてきた「弱いところ」、「小さいところ」、「遠いところ」にこそ、未来への希望があると信じています。2009 年に完成したこの映画は、**「絶望」を「希望」へと変えてゆく「降りてゆく生き方」とはなにか**を、皆さんに問いかける作品です。

お金の生き方から、いのちの生き方へ・・・。この映画を、いまを生きる全ての日本人に見てもらいたい。そんな誰もが思わず「うんうん」と頷き、考えてしまう映画です。

さて、**この映画が吉川市とよしかわ NPO 連絡会が共催で開催する「第 4 回 NPO フォーラム」の中で上映されることになりました！**この機会を逃してしまったら、もう二度と見ることが出来ないかもしれません！皆さんにもぜひ、会場まで足を運んでいただき、映画を見ていただけたら幸いです（**※ NPO フォーラムは市民と行政との協働事業です**）。

≪第 4 回 NPO フォーラム情報≫

日時：平成 22 年 2 月 28 日（日）10 時～18 時まで
場所：市民交流センターおあしす
内容：地域を話し合う「コミュニティカフェ（※）」の開催、市内で活躍する NPO 団体のパネル展のほか、商工会・商工課さんのイベント『逸品朝市』とのコラボ企画も実施します。NPO が自らの手で作り上げたイベントです。どうぞ、ご覧ください。
なお、午前中にプレ映画上映会を行います。映画本編上映は 14 時から 16 時です。終了後、映画関係者とのトークセッションを行い、最後は交流会を開催します（前売券を販売しています。ご希望の方は、市民参加推進課まで）。

（※）コミュニティカフェとは？
特に定められた定義はありませんが、家族間の結びつきやご近所付き合いが希薄化し、孤独感を感じる現代社会において、「地域に根付いた何かを探したい」、「共通のものを通じて友達を作りたい」という時に気楽に集うことの出来るカフェ形式の「人と人とが触れ合う空間（場）」のことを言います。形態は様々で、団塊世代が集まるための喫茶店や地産地消レストランなど、地域の特色が色濃く反映されています。

この映画は、2009 年春に解禁した出来たてホヤホヤの作品なんだ。しかも、映画館では絶対に上映しないし、DVD 販売や TV 放映も絶対に行わない作品なんだって！まさに「幻の作品」だよね。近くで上映される様子もないから、今回が最初で最後のチャンスかも？！今ならまだ間に合うよ！早く市民参加推進課へ行かなきゃ・・・。

主演：武田鉄矢　共演：石田えり、渡辺裕之　など
（公式サイト）http://www.nippon-p.org/

まいぷれ吉川絶好調！

前号でご紹介いたしました「まいぷれ吉川」について、追加報告です。

２００９年１２月２８日現在、２５５名の方が当サイトに登録しています。まいぷれに寄せられる市民の声は様々です。例えば・・・。

「吉川市でラーメンの美味しい店はどこ？」
「吉川市でこんなイベントがあるよ、みんな参加してね！」
「ペットボトルの出し方って各自治体で違うけれどどうして？誰か教えて？？」
「新型インフルエンザの見分け方って何？！」　　などなど。

このように日常生活の何気ないひとコマに関するものから、行政職員ではないと答えられないような専門的なものまで、多岐多彩に渡ります。

以前、皆さまに「課としてまいぷれ吉川に登録してください」というお願いをさせていただきました。既に複数課の皆さんが登録をしていただいておりますが、残念ながら全ての課が登録までには至っていません。吉川市として、地域を応援していくためにも積極的な登録をよろしくお願いいたします。

～編集後記～

２０１０年を迎えるにあたり一言申し上げます。

皆さま、新年明けましておめでとうございます！
昨年度は、協働という言葉をしつこく皆さんに訴えかけてまいりました。それもこれも、全ては協働を吉川市に広げていくため。ただそれのみを考えて行ってまいりました。

おかげ様で、協働という言葉が、行政職員の皆さんに大分浸透してきたようです。
実は、現在、協働庁内会議を再び始動させるべく、準備を行っているところです。第１期目の委員の皆さまには、「協働指針策定」という大仕事を行っていただき、吉川市の協働を前進させることに成功しました。今でも、当時の委員の皆さまには頭が上がらないＮ太郎です･･･。

第２期目となる協働庁内会議となられる皆さま、どうか、不安がることなく、吉川市の協働を一緒に考え、議論し、実践していきましょう！
それでは、「今年もよろしくお願いいたします。」

編集担当：KYODO-N 太郎

協働に関する問い合わせやかわら版に対する意見など
市民参加推進課　市民参画係まで
内線：457　E-mail：LGWAN 市民参加推進課メール